

鎌倉市営住宅の集約化事業についてお知らせします

【 かまくら住宅ニュースを発行します 】

本市の住宅政策や市営住宅に係る取り組み状況について広く知っていただくために、各取り組みの進捗にあわせて「かまくら住宅ニュース」を随時発行していきます。

今回は創刊号として、「鎌倉市営住宅の集約化事業」についてご紹介します。

【 市営住宅の状況について 】

住宅に困窮する高齢者等の低額所得者への住宅供給の中核的な役割を果たす市営住宅については、現在 11 団地 642 戸を供給しています。

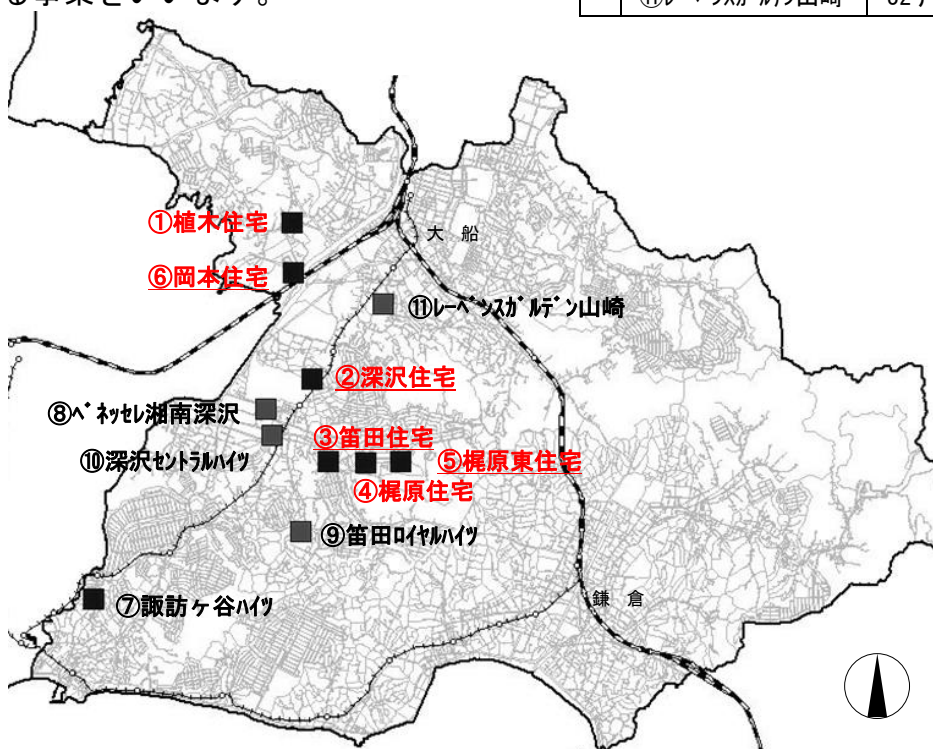
うち 6 団地（右表①～⑥参照）496 戸については昭和 30 年代から昭和 50 年代初めに建設されたことから、老朽化が進んでいる状況であり、中でも老朽化が著しい 4 団地にある簡易耐火構造の住宅の建替えが急務となっています。

【 市営住宅集約化事業とは 】

老朽化した市営住宅 6 団地の建替えに伴い、2 箇所程度に集約化して整備する事業をいいます。

市営住宅一覧表

	団地名	戸数	構造	建築年
市有	①植木住宅	12 戸	簡易耐火	昭和 31 (1956)
	②深沢住宅	62 戸	中層耐火	昭和 54 (1979)
		80 戸	簡易耐火	昭和 35 (1960) ～38 (1963)
	③笛田住宅	70 戸	簡易耐火	昭和 39 (1964) ～42 (1967)
	④梶原住宅	12 戸	簡易耐火	昭和 42 (1967)
		44 戸	中高層耐火	昭和 42 (1967) ～43 (1968)
	⑤梶原東住宅	116 戸	中高層耐火	昭和 46 (1971) ～52 (1977)
借上	⑥岡本住宅	100 戸	中高層耐火	昭和 45 (1970) ～48 (1973)
	⑦諏訪ヶ谷ハイツ	51 戸	中高層耐火	平成 8 (1996)
	⑧ベネッセ湘南深沢	22 戸	中高層耐火	平成 9 (1997)
	⑨笛田ロイヤルハイツ	17 戸	低層耐火	平成 10 (1998)
	⑩深沢セントラルハイツ	24 戸	中高層耐火	平成 11 (1999)
	⑪レーベンスガールデン山崎	32 戸	中高層耐火	平成 13 (2001)



植木住宅



梶原住宅

【 集約化の目的 】

市営住宅の集約化の目的は以下のとおりです。

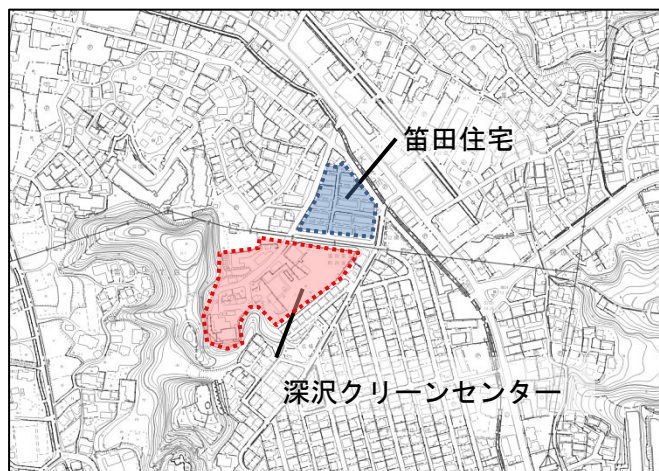
- 居住者の安全性を確保する
- 居住者や入居希望者の世帯にあわせた住戸を供給する
- 土地の有効活用を図る
- 計画的なストックマネジメントを図る
- 維持管理コストの抑制を図る



笛田住宅

【 集約化の候補地の検討 】

建替え対象の 6 団地と活用可能な市有地から集約化で有効活用が図れる笛田住宅用地と隣接する深沢クリーンセンター用地を第 1 次集約化の候補地として、その適性を確認するため土壌汚染調査等の調査を行っています。この笛田住宅用地等における集約で確保できない住戸分については、笛田住宅以外の市営住宅用地を活用し第 2 次集約を行う予定です。



笛田住宅用地等位置図

【 今後の進め方 】

①集約化候補地、事業スケジュールや事業手法の検討（平成 29 年度）

候補地の適正判定や選定、事業スケジュール等を検討します。

＜第 1 次集約化＞

②事業者選定に向けた実施方針の作成（平成 30 年度）

民間事業者のノウハウを活用するための事業手法等を定めます。

③整備事業者の選定（平成 31 年度）

整備を行う民間事業者を募集し選定します。

④設計・解体・建設工事（第一期）

新しい住宅の建設を行います。

⑤居住者移転（第一期）

住宅の老朽化度を優先判断事項として、新しい住宅に入居いただきます。

※候補地の土壌汚染調査等の結果に応じて変更される可能性があります。

※事業は複数の期に分けて実施する予定です。

※設計・解体・建設工事は一期あたり 3 年から 4 年程度の期間を想定しています。

※第 2 次集約化候補地は未定

お問い合わせは

鎌倉市 都市整備部 建築住宅課 住宅担当

TEL 0467-23-3000（内線 2554、2556）